

治療した部位と治療方法

1 問診診察結果 (だき人形)

- (1) 受付時 足の長短にも気が付いた。図-1
- (2) 首と布の取り付け部分が、図2・3の状態。
- (3) 図-4 は頭・首を抜いた状態。
- (4) 図-2 の左肩から肘まではストッキング布で写真のように応急処置がされていた。
- (5) 全体的に、首から下の胴体全体の「布」が朽ちてボロボロになって、中の綿が露出している箇所も多く、特に左足がひどかった。
- (6) 図-5 は、入院時の体部分及び服上下と靴下。
- (7) 図-6 は、左足の綿が飛び出した状態。



図-1 受付時の足の長短



図-2・図-3・図4は首布の状態



図
3



図
4

と左腕の応急処置の状態



図-5 入院時の体部分及び服上下と靴下



図-6 左足の綿が飛び出した状態

2 治療の方法

- 受付で一見した時には、これは重症だと思った。ボタン付けや破れた被服を縫うくらいは出来るが、体合わせの裁縫はやったことが無い。
- 依頼者の方にとっては、とっても思い入れのある人形であり、出来るだけ直して欲しい気持ちが強く感じられました。

- この状態になるまで愛着をもって、ご自分で繕いながらも大切にされてきた人形、これから先も直して大切に持っていたい。そんな気持ちに心を打たれました。
- 私には、現在のこの人形の状態よりは、良い姿に治せるであろうと言う自信は少しだけあった。また、この依頼をお断りすれば、他に直してくれるところがあるだろうか？ そんな直してくれるところが無かったら、依頼者さんは悲しい思いをされるだろうと思った。
- そんな気持ちから、上手く直らなくても所長の責任としてお引き受けを決心した。
- 結果は、次に示す写真を見て頂くことに致します。依頼者さんには、ご満足頂けなかった場合は、別の方法で再治療させて頂くことに致します。
- いらぬ話を付け加えますと、縫いぐるみの治療で、割腹手術で治療した時などには、妻が手術の後を縫い合わせてくれる時もあるが、今回ばかりは、最初から拒絶反応を示され「私には出来ません」と終始一切手伝ってくれなかった。未経験ですが、何とか形だけは出来上がったのではないかと考えております。
- ヘアーも後部に寝癖がついておりましたが、ぬるま湯でブラッシングして少しはフワツとしている。



左足の長かったのを右足に合せました



✳ 首を固定する布で残っていたのは写真の通り



✳ まだ暑いので、靴下は脱いでいます

3 ドクターから依頼者さんへ

ご注文がございましたら、何なりとお申し付け下さい。

お渡し予定日：平成28年9月3日
担当ドクター：谷 春 雄